



人と環境の三木北高新聞



令和5(2023)年度 新たな始まり

4月10日、着任式・始業式が体育館で行われました。実に3年ぶりに在校生が集まりました。第41回生を迎えての田中良季校長先生の入学式式辞をご紹介します。また今年度は5名の先生方が三木北高校へ着任されました。事務室関係の方のご紹介と、教員の先生方からは一言ずつご挨拶をいただいています。



第41回入学式（令和5年4月10日） 学校長式辞

ここ、青山の地も爽やかな風につつまれ、学校周辺の木々が一斉に春の装いをこらし、命あるものすべてが勢いよく活動を開始しようとする今日の日、河本育友会長様はじめ本校学校評議員の方々並びに多くの保護者の皆様のご臨席のもと、兵庫県立三木北高等学校第41回入学式をかくも盛大に挙げていくことは、本校にとってこの上ない喜びでございます。厚く御礼申し上げます。

ただいま入学を許可いたしました96名の新入生の皆さん、入学おめでとうでございます。本校の教職員、在校生をあげて皆さんの入学を心から歓迎いたします。

さて、本校は昭和五十八年に、校訓である「立志」「自学」「自律」「共生」の理念を基軸に知・徳・体の調和のとれた人格の完成を目指す学校として創立されました。人と環境の三木北高校として2012年にはユネスコスクールの認定を受け、高校としていち早くSDGsに取り組む学校として地域と共に歩んできました。この伝統ある三木北高校に、皆さんをお迎えするにあたり、2つお話ししたいと思います。

1つ目は、三木北高校は一昨年より30人学級制を取り、少人数でのきめ細かい指導を行ってまいりましたが、今年度入学した新入生の皆さんにも少人数クラス編成できめ細かい指導を行うことができるということです。本校は昨年度創立40周年を迎えた伝統校で、かつては40人11クラス規模を誇るマンモス校でしたが、残念ながら一昨年度から定員120名、3クラス規模に縮小することになりました。さらに、次年度の新入生をもって募集を停止し、令和8年度をもって三木北高校は統合されることが決まりました。その影響は大きく兵庫県統合校14校の内13校が定員割れと残念な入試結果となり、本校も大きく入試においては定員を割り込みました。しかし、ピンチをチャンスととらえて前を向いて進むしかないと考え、本校を志望して入学した41回生96名のためにも、これまでの三木北同様、生徒に寄り添い、丁寧な指導を続けていかなければならないと考えています。新入生の皆さんは、他校のように40人ずつ3クラスではなく、これまでの生徒同様、32人ずつ3クラスの少人数編成でHRを形成し、多種多様な選択科目を置くことでさらに少人数での指導を行っていきます。少人数指導は、一人一人の生徒に対して担任や授業担当者の目が行き届きやすく、丁寧に細やかな教育活動が可能となります。新入生の皆さんにはこのメリットを生かし、早く高校生活に慣れ、将来を見据えた充実した高校生活のスタートを切ってほしいと思います。

2つ目はビジョンをもってもらいたいということです。私は、毎年の新入生には必ず「ビジョンを持つ」ことを提案してきました。ビジョンとは将来あるべき姿を描いたもの、将来の見通し、構想、未来像のことです。皆さんは中学校を卒業したばかりで、将来の見通しなどまだまだ先のことに思っているかもしれません。しかし、目標の無いところに成果はありません。小さなものでも何でも良いのです。目標を立てましょう!!もちろん勉強は大切ですが、部活動でもボランティア活動でも、何でも良いのです。自分が活動する中で「こんな風になりたい」「これができるようになりたい」というビジョンをもって生活すれば毎日が充実するばかりではなく、受け身ではなく主体的に取り組むことによる成果は大きくなるはずで、また、目標を実現するための小さな目標を立てることも忘れないようにお願いします。つまり、大きな夢に向かっていくための計画と実践と反省の繰り返しこそがビジョンを持った生活と言えると思います。新入生の皆さんにはこの場では語り尽くせない思いが、私や先生方にはあります。今日から毎日、その思いを三木北での高校生活で伝えていきたいと思っています。

続きまして保護者の皆様をお願い申し上げます。本日から大切なお子さまをお預かりいたします。教職員一同、全力を尽くして誠心誠意お子さまの教育に取り組んで参る所存です。しかし、保護者の皆様のご理解とご協力なくして大きな成果は望めません。学校・家庭・地域が一体となってお子さまの成長を応援していけますよう、ご理解とご協力をお願い申し上げます。そして、先ほど、少し触れましたが、本校は発展的統合の対象校となり、現在の三木東高校、吉川高校との統合が決定していますが、今年入学された新入生の皆さんも、卒業するまで三木北高校生であり、この青山の校舎で学びます。ご安心ください。本校は人と環境の三木北のキャッチフレーズで地域から愛され支えられ育てていただいて今日までやってきましたが、今年度からは、「最後まで、より三木北高校らしく」をサブキャッチフレーズとして、より輝きを強く放っていきたくと考えています。新入生の皆さん一人一人が、三木北校生として強く輝き、本校の明日からを明るく照らし、より地域から愛され惜しまれる学校へとさらに成長し続けることを心より願います。

最後になりましたが公務ご多用の中、ご臨席を賜りました来賓の皆様方には、重ねてお礼申し上げますと共に、今後とも本校教育発展のために尚一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いを申し上げます。

令和五年四月十日 兵庫県立三木北高等学校長 田中 良季

第41回始業式・着任式 新着任の先生方のご紹介

岩田賢治先生(数学)、北本とし子先生(英語)、島村香苗先生(国語)、日覺義和先生(保健)、城土倫子先生(養護)、来栖智子先生(事務室主査)、澤井渉先生(校務員)、厚見悠加先生(校務員)、以上8名の方々がおこしになりました。よろしくお願いいたします。



○岩田賢治 2年2組担任 数学担当 バスケットボール部顧問 趣味:スポーツ、サウナ、ごはん

三木北高校の皆さんののはつらつとした姿に毎日元気をもらっています。これから、授業や部活動、行事などで皆さんとコミュニケーションがとれることを楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

○北本とし子 1年学年副主任 1年1組担任 英語担当 空手部、茶華道部顧問 趣味:ヨガ

三木市は初めてですが、自然豊かな穏やかな町でとても気に入っています。このような素晴らしい環境で三木北高校の皆さんと一緒に学校生活を送れることを大変うれしく思います。よろしくお願いいたします。

○島村香苗 進路指導部 国語担当 書道部・サッカー部顧問 趣味:ドラマを見ること

三木北高校は私にとって教師のスタートを切った大切な学校です。再び勤務できることに、ワクワクしています。当時の生徒と同じく、きっと優しい三木北の皆さんとたくさんの方に挑戦したいです。どんどん話しかけて下さいね。

○日覺 義和 1年学年主任 保健体育担当 サッカー部・音楽部顧問 趣味:息子とドッジボール

三木北高校の生徒は本当に素直で良い子達ですね。一緒に素晴らしい高校生活をしていこう。よろしくお願いいたします。

○城土 倫子 生徒指導・保健部 養護教諭(保健室) 男子バレーボール部顧問 趣味:美味しいものを食べること 旅行

二度と戻らない高校生としての3年間、心も知識も体力もしっかりと成長して、素敵な大人になって欲しいです。何歳になっても、高校生の思い出は心に残ります。みんなが充実した毎日になるように、関わりたいと思っています。よろしくお願いいたします。

第41回 青志祭にむけて テーマ「翔」に決定

令和5年度の第41回青志祭にむけて、第1回実行委員会が開かれ、基本方針やテーマが決定しました。目標は「三木北高生としての文化的教養を高め、地域との交流(限定:過去3年間に比べ、かなり落ち着いてきたものの、新型コロナウイルス感染症のリスクはまだ存在するため)を深めること」としています。テーマは「翔」。これは、先のWBCで日本中を熱狂させた大谷翔平選手にあやかって、三木北高校の青志祭を盛り上げようという意図で選ばれました。三木北高生全員で青志祭をおおいに盛り上げましょう。

春休み中の各部活動の活躍

○野球部 3月24日～25日の日程で、宮城県志津川高校との交流会のため、宮城県へ遠征しました。東日本大震災以降続いている交流会です。新型コロナウイルス感染症の流行により一時中断を余儀なくされていましたが、今年度ようやく再開することができました。24日、早朝、野球部員たちは笑顔で出発し、貴重な体験を積んで戻ってきました。

春の校外活動について

○4月21日(金)に各学年それぞれの場所で行われました。1年生は、ネスタリゾートでのバーベキュー大会、2年生は京都観光、3年生はUSJ、良い思い出になったことでしょう。